

第 15 回建設業経理士検定試験 1 級原価計算

〔第 1 問〕 解答にあたっては、それぞれ200字以内（句読点を含む）で記入すること。

問 1

直接配賦法は、補助部門間の用役授受を配賦計算上は無視して、施工部門にのみ配賦を行う方法である。階梯式配賦法は、他の補助部門により広く用役を提供している部門から配賦計算をしていく方法であり、最後に配賦計算をする補助部門は、施工部門にのみ配賦することになる。相互配賦法は、最も厳格な配賦計算であり、補助部門間の用役授受の実態を適正に反映させるため、補助部門間の用役授受を配賦計算上も考慮する方法である。

問 2

累積的回収期間法とは、投資額を、投資によって生じる年々のネット・キャッシュ・フローで回収した場合、何年目で投資額が回収できるかを計算する方法であり、回収期間が短いほど有利であると判定される。長所として、計算が簡単で理解しやすく、投下資金の早期回収を優先する経営者にとっては有効な評価方法である。一方、短所として、時間価値を考慮していないのみならず、資金回収後の収益性を考慮していないという点がある。

〔第 2 問〕

記号（ア～ス）

1	2	3	4	5
カ	キ	エ	オ	イ

〔第 3 問〕

① 差額収益	¥	9,800,000
② 差額原価	¥	5,930,000
③ 差額利益	¥	3,870,000

〔第 4 問〕

(1) 第 1 工程の月末仕掛品原価	¥	115,700
(2) 第 1 工程の完成品単位原価	¥	1,290
第 2 工程の完成品単位原価	¥	1,855

第 15 回建設業経理士検定試験 1 級原価計算

〔第 5 問〕

問 1

完成工事原価報告書	
自 平成×3年10月 1 日 至 平成×3年10月31日	
宮古建設工業株式会社	
(単位：円)	
I. 材料費	1, 781, 690
II. 労務費	1, 519, 190
(うち労務外注費	651, 730)
III. 外注費	437, 520
IV. 経 費	1, 066, 210
(うち人件費	546, 735)
完成工事原価	4, 804, 610

問 2

¥ 2, 014, 140

問 3

- | | | | | |
|----------------|---|--------|------------|---|
| ① N材料の副費配賦差異 | ¥ | 1, 050 | 記号 (AまたはB) | A |
| ② 運搬車両部門費予算差異 | ¥ | 9, 770 | 記号 (AまたはB) | B |
| ③ 運搬車両部門費操業度差異 | ¥ | 5, 000 | 記号 (AまたはB) | A |